



ます席・特製弁当を販売します

ます席で黒森歌舞伎をゆつくり楽しみませんか？ 一ますは四人分で、特製歌舞伎弁当や演目の解説本も付いて、湯たんぽ、ひざ掛けも貸し出します。費用は、一ます一万円（当日持参）で、一日につき八ますです。

また、好評の特製歌舞伎弁当も販売します。価格は九百円（当日持参）で、一日につき三十食（要事前予約）です。

●ます席・特製弁当の申し込み●
黒森コミュニティセンター
電話・023492・2255

小松屋特製

『黒森歌舞伎まんじゅう』新発売！

今年から正月公演で黒森歌舞伎まんじゅうを販売します。1日につき100箱、予約限定販売です。歌舞伎鑑賞のお供に、お土産にぜひどうぞ！

●お問い合わせ・予約申し込み●
黒森コミュニティセンター
電話・023492・2255



★要事前予約★ 6個入 800円（税込）
※お品物は当日会場でお渡しします

平成29年正月公演 2月15日(水)・17日(金)
会場:黒森日枝神社境内

10:00 ~ 少年太鼓、神事
すがわらでんじゅてならいかのみ

12:00 ~ 少年歌舞伎『菅原伝授手習鑑』より
「吉田社頭車引の場」

13:00 ~ 本狂言『絵本太功記』より
えほんたいこうき
「本能寺の場」「尼ヶ崎閑居の場」

(16:00 頃終了予定)
※屋外での観覧ですので、防寒対策が必要です。

平成29年酒田公演 3月5日(日)
会場:酒田市民会館「希望ホール」

12:00 ~ 少年太鼓

12:30 ~ 少年歌舞伎『菅原伝授手習鑑』より
「吉田社頭車引の場」

13:30 ~ 本狂言『絵本太功記』より
「本能寺の場」「尼ヶ崎閑居の場」

(16:30 頃終了予定)

【入場券】前売り券 500円 当日券 700円 (未就学児は無料)
前売り券は、酒田市総合文化センター事務室、酒田市役所地下売店、酒田市民会館「希望ホール」事務室、やわたタウンセンター、酒田市ひらたタウンセンター、松山総合支所、黒森コミュニティセンターで取り扱います。

●黒森歌舞伎保存会事務局●
〒998-0034
山形県酒田市中央西町2-59
酒田市教育委員会 社会教育文化課内
電話・0234-241-2994
FAX・0234-241-5780
Eメール・shakai@city.sakata.lg.jp

黒森歌舞伎保存会だより

平成二十九年正月一日

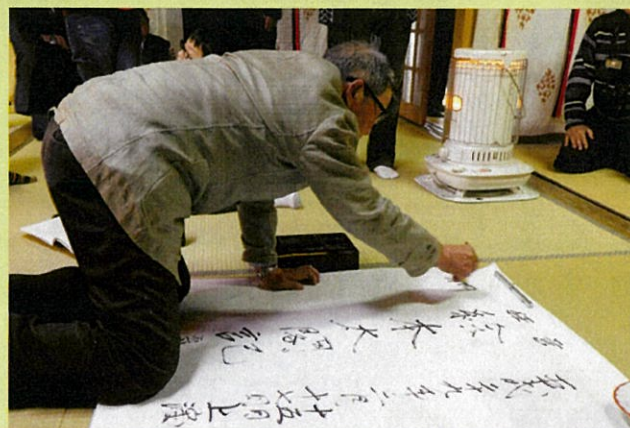
今年の演目は15年ぶりの「絵本太功記」

黒森歌舞伎保存会 会長 菅井儀一

平成二十九年の年明けを迎え、黒森歌舞伎保存会会員の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年は、全国豊かな海づくり大会の開会式典行事が希望ホールで開催され、歓迎の口上を述べるといふ大役を果たしました。3分間という短い時間ではありましたが開幕にふさわしい堂々たる演技で、来場された方々より「大変素晴らしかった」との声を多くいただきました。歴史ある伝統芸能としての黒森歌舞伎の魅力を全国に向けて発信することができたと思えます。

さて、今年の演目は、「絵本太功記」です。平成十四年以来、十五年ぶりの上演となる本作は、豊臣秀吉の「太閤記」から題材をとった演目で三日天下として知られている明智光秀を主



神饌の儀で決まった演目を書く佐藤副座長

人公に描かれています。今回は「本能寺の場」、「尼ヶ崎閑居の場」の二幕を上演いたします。今年には富樫久一座長のもと新たな役員体制で行う初めての公演となります。ご来場くださった皆様に喜んでいただけるよう座員一同懸命に稽古を重ねておりますので、どうかご声援いただきますようお願いいたします。また、少年歌舞伎は、例年に引き続き「菅原伝授手習鑑」よ



全国豊かな海づくり大会山形 (9月11日希望ホール)

元ほんたいこうき
り吉田社頭車引の場を上演いたします。当日は子どもたちの熱演にもご期待下さい。
正月公演の頃は例年厳しい寒さが予想されますが、二月十五日、十七日は会員の皆様からぜひ演舞場にお越しいただき、役者、裏方だけでなく、歌舞伎を支えてきた黒森地区の人々に惜しみない拍手を賜りますようお願い申し上げます。

演目紹介

元ほんたいのこうき

「絵本太功記」

江戸時代に人気を博した豊臣秀吉の『太閤記』をもとに創られた作品で、三日天下として知られる明智光秀を主人公とし、本能寺の変で織田信長を討つてから、天王山の合戦で秀吉に破れて滅ぼされるまでを題材としている。

■操

みさお
…光秀の妻。

■武智十次郎

たけちじゅうじろう
…光秀の子。

■初菊

はなぶく
…武智十次郎の許婚。

■真柴久吉

ましばひさよし
…史実の羽柴（豊臣）秀吉。

■加藤正清

かとうまさきよ
…久吉の部下

一幕目

本能寺の場

(5月2日)

本能寺の春長のもとに、阿野局に伴われてまだ幼い春長の孫・三法師君が訪れた。春長は酒宴に興じ、また蘭丸も恋人の志のぶとの語らいに、緊張を緩めてしまう。

深夜、春長が寝られず聞いたところ鐘太鼓や人馬の音が聞こえてくる。

光秀が軍勢を動かしたのだった。警護の薄い寺では、防御のしようはなく、春長は妻の阿野局に三法師君と家の重宝の旗を託し、真柴久吉に無念をはらせと伝えるよう命じる。春長と蘭丸は、押し寄せた敵に果敢に立ち向かっていく。



かわいらしい初菊と十次郎 (4月29日春例大祭)

〈主な登場人物〉

■武智光秀

たけちみつひで
…史実の明智光秀。

■尾田春長

おだはるなが
…史実の織田信長。

■蘭丸

らんまる
…春長の家臣。

■志のぶ

…春長の侍女。

■阿野局

あのうのつねね
…春長の妻。

■三法師君

さんぼうしきみ
…春長の孫。

■皐月

さつき
…光秀の母。

二幕目

尼ヶ崎閑居の場

(十段目)

光秀の母・皐月は謀反人となった我が子が許せず、家族のもとを離れて尼ヶ崎で一人暮らしをしていた。この尼ヶ崎の閑居に光秀の妻・操と、十次郎の許婚・初菊が集まっていた。そこへ一夜の宿を求め旅の僧に扮した真柴久吉

が訪ねてくる。そして物陰には、旅僧の正体を見破った光秀の姿もあった。

光秀の子・十次郎も初陣の許しを得ようと、祖母に当たる皐月の元を訪れる。皐月は出陣を許し、討ち死にを覚悟した孫を思いやっけて、出陣前に初菊と祝言も挙げるようにと命じる。そして十次郎は死を決して出陣する。

女たちが悲しみに暮れる中、やがて風呂が沸き、皐月は旅僧（久吉）に一番風呂を勧める。旅僧が湯殿に入るのを見ていた光秀は、久吉を討つべく湯殿へ竹槍を突っ込む。しかし、光秀が刺したのは母の皐月であった。皐月は光秀の罪深さを思い知らせるためにわざと光秀の手に掛かったのだった。

そこへ、瀕死の十次郎が戦場から駆け込み、父へ敗軍の知らせと退却を建言する。皐月も十次郎も息絶え、進退窮まった光秀の前に久吉とその部下加藤正清があらわれ、戦場（山崎）での再会を約束して光秀をみのがしてやる。

今年の押絵は 〈武智光秀〉

毎年楽しみにしているファンも多い押絵。今年も「絵本太功記」の主人公・光秀のデザインです。正月公演と酒田公演で限定75枚で販売予定です。お問い合わせ・予約申し込みは黒森コミュニケーションセンター(0272255)まで。



円紙 4,000円
入りみ 2,500円
緑紙
額色

正月公演にあわせて、酒田市役所1階展示スペースにおいて、黒森歌舞伎衣裳展を開催しています。ぜひご覧ください。

※入場無料。市役所開庁時間のみ入場可。2月10日まで(最終日は15時まで)。



黒森歌舞伎の一年

(これまでの活動と今後の予定)

◆平成28年

3月13日
【太夫振舞】神饌の儀が行われ、演目は「絵本太功記」に決まりました。今回の選者は、俳優の五十嵐健さんです。



4月29日

【春例大祭】黒森地区の春祭りが盛大に行われ、地域の子どもたちが演目紹介の山車行列として村中を練り歩いた後、神宿渡しを行いました。

7月24日

【虫干し】衣裳をすべて出して、神社境内いっぱいに広げて虫干しをしました。

8月16日

【お面開き】神霊が宿るとされる翁面と三番叟のお面を箱から出して、神事を行いました。

9月初め

【役割】正月公演の配役を決めました。
【本読み】正月公演の台本を読み合わせしました。

1月初旬 けいこ始まり

◆平成29年

1月9日

【地固め】本格的な活動の開始です。今後の稽古日程が発表されました。

2月3日

【節分】豆まきをします。

2月5日

【おさららい】通し稽古を行い、動きやセリフを確認します。

2月13日

【花道づくり】地域の方々、神社境内へ花道を組み立てます。

2月14日

【寄せ太鼓】神社境内で、地域の子どもたちが大入り祈願と歌舞伎の宣伝のために、太鼓を打ち鳴らします。

【あご別れ】

公演の最終確認と成功祈願を行います。

2月15日・17日

【正月公演】演舞場で2日間わたり、公演を行います。

2月18日

【勘定】公演の経費を精算します。

3月5日

【酒田公演】酒田市民会館で公演します。

3月12日

【太夫振舞】来年の演目を決める神饌の儀を行います。